

# はつかいち福祉ねっと

## 取組まとめ

～令和4年度～

注)資料内の「※中止」の記載は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった取組です。

## 全体会

### 【目的など】

はつかいち福祉ねっと全体の計画・実績・方向性や地域課題、政策提言等の共有を行います。

### 【構成団体】

当事者・家族団体、福祉サービス事業所、医療機関、行政機関、教育機関、民生委員児童委員協議会等(約251団体・機関)

### 【これまでの主な取組】

- ・ はつかいち福祉ねっと部会報告(取組計画・取組報告)(平成20年度～)
- ・ きらりあ活動報告(平成20年度～)
- ・ 市の計画について
  - 「第3次障がい者福祉計画について」(平成26年度～)
  - 「第5期廿日市市障がい福祉計画について」(平成29年度)
  - 「第6期廿日市市障がい福祉計画について」(令和2年度)
- ・ 研修
  - 「障害者差別解消法について～法律の概要と活用のポイント」(平成28年度)
  - 「地域生活支援拠点について」(平成28年度)
  - 「みんなしあわせ～つばさという“場”から地域福祉の根っこを探す」(平成28年度)
  - 「すべての福祉の道は「地域福祉」に通ず」(平成29年度)
  - 「一般企業における障がい者雇用について」(平成29年度)
  - 「広島市における医療的ケア児を地域で支援するための協議の場の設置状況について」(平成30年度)
  - 「発達障がいってどんなもの?～疑似体験をしてみましょう～」(平成30年度)
  - 「防災(出前トーク)」(令和元年度)
  - 「総社市地域自立支援協議会の取り組みと総社市における引きこもり支援について」(令和元年度)
  - 「NPO法人ほっと吉和の取組について」(令和2年度)
  - 「広島市における災害時の障がい者支援と取組」(令和3年度)
  - 「新型コロナウイルス感染症と障がいのある人の生活について」(令和3年度)
- ・ 障がい者スポーツ体験(平成25年度)
- ・ ステージ発表(平成24年度～) ※令和2年度より中止
- ・ 事業所・団体紹介(平成27年度～) ※令和2年度より中止
- ・ 事業所製品の販売・展示(平成27年度～) ※令和2年度より中止

### 【令和4年度 取組計画】

- ① 令和3年度相談支援実績報告
- ② はつかいち福祉ねっとの取組報告、計画共有
- ③ ステージ発表、事業所紹介、事業所製品の販売・展示(※中止)
- ④ 研修会
- ⑤ 第3次廿日市市障がい者計画・第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画推進

### 【令和4年度 取組報告】

令和4年度の全体会は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため時間を短縮し、現地参加とオンライン参加に分かれた分散開催としました。

7月の全体会では、令和3年度の取組と令和4年度の取組計画について各部会代表者から報告し、その後、「自立支援協議会と地域づくり」(講師：沖縄大学人文学部福祉文化学科 教授 島村 聡さん)というテーマで研修を行いました。

2月の全体会は、精神障がい部会と権利擁護ワーキングによるピックアップ部会の報告、研修は「誰もが安心して暮らすことのできる地域を目指して～石川県金沢市の課題とその解決にむけた取組み～」(講師：金沢市障害者基幹相談支援センター 寺西 里恵さん)というテーマでお話をいただきました。



全体会の様子

## 部会代表者会議

## 計画推進会議

### 【目的など】

専門部会(障がい別会議・課題別会議)の代表者を構成員とし、はつかいち福祉ねっとの取組全般に関する情報共有や必要事項の協議を行います。

### 【目的など】

「廿日市市障がい者計画・廿日市市障がい福祉計画・廿日市市障がい児福祉計画」をPDCAサイクルで推進するために、地域課題やはつかいち福祉ねっとでの取組について協議を行います。

### 【構成団体】

①身体障がい部会②知的障がい部会③精神障がい部会④こども部会(休止中)⑤わかりやすい情報部会(わかりやすい情報発信プロジェクト、手話言語&コミュニケーション条例プロジェクト)⑥就労支援部会(福祉就労ワーキング、特別支援学校進路ワーキング)⑦発達支援部会⑧医療的ケア児(者)部会⑨地域生活支援部会(精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムワーキング、余暇活動支援ワーキング、訪問介護事業所連絡会、防災プロジェクト、地域生活支援システムプロジェクト)⑩相談支援部会⑪学習・啓発部会(権利擁護ワーキング、“障害者週間”ワーキング、“発達障害啓発週間”ワーキング)

### 【構成団体】

①身体障がい部会②知的障がい部会③精神障がい部会④こども部会(休止中)⑤わかりやすい情報部会(わかりやすい情報発信プロジェクト、手話言語&コミュニケーション条例プロジェクト)⑥就労支援部会(福祉就労ワーキング、特別支援学校進路ワーキング)⑦発達支援部会⑧医療的ケア児(者)部会⑨地域生活支援部会(精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムワーキング、余暇活動支援ワーキング、訪問介護事業所連絡会、防災プロジェクト、地域生活支援システムプロジェクト)⑩相談支援部会⑪学習・啓発部会(権利擁護ワーキング、“障害者週間”ワーキング、“発達障害啓発週間”ワーキング)

### 【令和4年度 取組計画】

- ①年間4回の会議開催
- ②はつかいち福祉ねっとの取組全般に関する情報共有や必要事項の協議

### 【令和4年度 取組計画】

- ①年間2回の会議開催
- ②「第3次廿日市市障がい者計画」「第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画策」をPDCAサイクルで推進するための協議

### 【令和4年度 取組報告】

年4回の会議(5月19日、6月16日、11月17日、2月2日)を開催しました。各部会の取組状況を共有しながら、全体会等の福祉ねっとの取組全般に関わる内容や、部会・ワーキングの枠を超えた共催企画等について協議しました。

### 【令和4年度 取組報告】

年2回の会議では「第3次廿日市市障がい者計画・第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画」に関する市の進捗状況や、各部会での取組、地域課題等の共有を行いました。

なかなか解決に至っていない地域課題や新たな地域課題がありますが、解決に向けた取組を進めるため、市や福祉ねっとの取組等に対する活発な意見交換を行うことができました。



会議の様子(部会代表者会議・計画推進会議)



## 身体障がい部会

### 【目的など】

障がいのある人・家族・支援者が定期的に集まり、障がいのある人の困りごと等様々な意見を汲み上げ、解決策を検討しています。

また、みんなでスポーツを楽しみ、安心して外出できる街づくりのための取組も行っています。

### 【構成団体】

①廿日市市障害者福祉協会②大野障害者団体連絡協議会③廿日市市障害者団体連絡会④視覚障害者の会「椿会」⑤全国障害者問題研究会廿日市サークル⑥佐伯地区ろうあ協会廿日市支部⑦広島ひかり園家族会⑧広島ひかり園⑨日本頸髄損傷Life Net⑩広島県難聴者・中途失聴者支援協会廿日市支部

### 【これまでの主な取組】

- ・おりづる出前教室  
健康づくり講演・料理教室・レクスポなど(平成22年度～)
- ・まち点検実施  
H23年度 廿日市市役所駅前～JR宮内串戸～阿品駅周辺  
H24年度 宮島口駅周辺  
H25年度 宮島点検  
※廿日市市障害者福祉協会「宮島安心ガイドマップ」作成に協力  
H26年度 宮島安心ガイドマップを利用した点検  
H27年度 平良市民活動センターのリニューアル、JR大野浦周辺地区  
(廿日市市担当課と意見交換)  
H28年度 JR廿日市駅及びJR廿日市駅周辺地区  
H30年度 JR廿日市駅南口、JR大野浦駅  
R元年度 TOTO宮島おもてなしトイレ他  
R2年度 宮島口旅客ターミナル点検、あいプラザ・宮島ケビン  
(改修工事の意見提出)  
R3年度 筏津地区公共施設  
(廿日市市担当課、県担当者と意見交換)
- ・あいプラザ消防訓練に参加(平成27年度～)
- ・“障害者週間”イベント(ゆめタウン廿日市)に参加(平成27年度～)

### 【令和4年度 取組計画】

- ①おりづる出前教室 ⇒2/3 担当者より障がい者スポーツの紹介
- ②まち点検 ⇒10/7 広電宮島口駅リニューアル、宮島まちづくり交流センター
- ③防災(啓発活動・避難訓練)⇒3/13 あいプラザ避難訓練
- ④“障害者週間”を活用しての啓発活動  
⇒12/3 ゆめタウン廿日市イベント参加
- ⑤第3次廿日市市障がい者計画・第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画推進

### 【令和4年度 取組報告】

2年ぶりのまち点検を実施。「新広電宮島口駅」と「宮島まちづくり交流センター」を点検しました。中国運輸局の方が、教育啓発特定事業のまち歩き点検の参考に同行され、福祉ねっとのまち点検を見学されました。点検により出された意見を今後の計画の参考として市担当課へ報告しました。

福祉ねっとの他部会の取組へ意見の提供や情報共有を行い、障がいのある方の投票率が低いという課題に対して、障がい別会議(身体、知的、精神障がい部会)で「模擬選挙」の実施を選挙管理委員会と計画しました。身体障がい部会としての参加は、今後検討していきます。

おりづる出前教室は、スポーツ交流センターの方に部会へ来ていただき、障がい者スポーツの種類を聞きました。どんなスポーツがあるか学び、部会のメンバーで体験し、啓発に向けて企画することを決定しました。今年度は、「自分たちがまず体験してみる」としてポッチャを体験する企画を検討していきます。

あいプラザの避難訓練は、希望者が参加し、市担当課へ障害のある方の避難について意見を出しました。

“障害者週間”ワーキングのイベントは、手話やロービジョン体験のコーナーを設け啓発活動に取り組みました。



まち点検の様子

## 知的障がい部会

### 【目的など】

家族会や本人・家族を支援している事業所が集まり、個人や一団体だけでは解決できない地域課題を共有し、行政や関係団体と連携しながら、その課題解決に向けて取り組んでいます。部会内の情報交換や学習会等の実施により、団体間の親睦も深まっています。

### 【これまでの主な取組】

- ・リーフレット「なっってください！サポーターに」作成(こども部会と共同)(平成20年度)
- ・「サポートファイル学習会」(こども部会・発達支援部会と共同)(平成22年度)
- ・おりづる出前教室「ゆるゆるビクス」「レクスポ」など(平成23年度～)
- ・「東日本大震災被災体験講演」(平成24年度)
- ・「要援護者避難支援制度学習会」(平成25年度)
- ・障がいのある人が利用している理・美容院、医療機関の情報収集(平成27年度～)
- ・地域生活支援拠点に関する情報収集、学習(平成27年度)
- ・あいプラザ消防訓練に参加(平成27年度～)
- ・就労に関する学習(平成28年度)
- ・学習「障害福祉サービス」「特殊詐欺等」(平成29年度)
- ・学習「障がい福祉サービス(介護保険移行)」(平成30年度)
- ・学習「ネット犯罪・ネット詐欺に関する学習会」(令和元年度)



定例会の様子



佐伯地区歯科医師会との意見交換会  
(市主催)

### 【構成団体】

- ①ピクトハウス家族会②友和の里保護者会(通所部)③友和の里保護者会(入所部)  
④廿日市市手をつなぐ育成会⑤くさのみ作業所家族会⑥障害者施設・原家族会⑦  
おおの手をつなぐ育成会⑧ファミリーレ⑨虹の会⑩日本ダウン症協会(はつかいち)  
⑪あおぞら家族会⑫くさのみ作業所⑬ピクトハウス⑭友和の里⑮アダージョ⑯  
障害者支援施設原⑰ふれあい生活介護⑱あおぞら⑲あうるワークスペース⑳リバ  
ティーはつかいち㉑おおの共同作業所

### 【令和4年度 取組計画】

- ①障がいのある人が利用している理・美容院、医療機関情報集約  
→医療関係者との情報交換(医療機関情報)  
→集約した情報の更新・公開
- ②防災に関する取組(学習会開催、あいプラザ消防訓練参加)
- ③情報交換(家族団体グループ・事業所グループ)
- ④学習(財産管理・成年後見制度、サポートファイル別冊「親心の記録」等)
- ⑤おりづる出前教室 ゆるゆるビクス
- ⑥事業所見学(オンライン活用)
- ⑦第3次廿日市市障がい者計画・第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画推進

### 【令和4年度 取組報告】

障がいのある人が利用している理・美容院、医療機関情報集約の取組を以前から行っているところですが、令和4年度は歯科受診に関する取組として、知的障がいのある人が歯科を受診するにあたっての困りごと等を部会で取りまとめ「佐伯地区歯科医師会との意見交換会」(知的障がい部会から代表で4名出席)で共有しました。様々な意見交換ができ、今後につながる貴重な機会となりました。

防災に関する取組として、地域振興課の中田さんと健康福祉総務課の荏原さんに参加していただき、避難行動要支援者避難支援制度の現状確認や意見交換、学習の取組として、廿日市市社会福祉協議会の中村さんに参加していただき、成年後見制度・廿日市市成年後見制度利用促進センターについての学習を行いました。

感染防止のため事業所間の交流はできませんでしたが、3年ぶりにレントと友和の里で開催した「おりづる出前教室 ゆるゆるビクス」は、楽しく身体を動かす機会になりました。

ビデオ視聴という形で行う予定としていた事業所見学は令和5年度に持ち越しとなりましたが、あいプラザ消防訓練に参加することもでき、色々な取組を行うことができた1年でした。

## 精神障がい部会

### 【目的など】

廿日市市の精神障がいのある人やご家族が安心して地域生活を送るために、当事者・ご家族・支援者などが定期的に会議を開催し、情報共有や、研修など地域啓発に取り組んでいます。

### 【これまでの主な取組】

- ・研修(主催：廿日市市、共催：はつかいち福祉ねっと)
  - 「発達障害のある人・家族の気持ちと支援のあり方」(平成28年度)
  - 「あなたの知らないお酒の世界」(平成29年度)
  - 「高次脳障がい者のための知っておきたいエピソード」(平成29年度)
  - 「発達障がい児・者への援助と利用」(平成29年度)
  - 「もっと知ってほしい！高次脳機能障害のこと(平成30年度)」
  - 「災害時のこころのケアとトイレ問題(令和元年度)」
  - 「アルコール依存症について(令和2年度)」
  - 「うつ病の基本的理解と支援について」(令和3年度)
  - 「統合失調症の基本的理解と支援について」(令和3年度)
- ・おりづる出前教室(平成23年度～)
- ・当事者主体の地域交流事業
  - 備北丘陵公園(平成26年度)
  - 安佐動物公園(平成27年度)
  - 尾道千光寺公園日帰り旅行(平成28年度)
  - みんなで作った餃子をみんなで食べる!!お食事会(平成29年度)
  - 温井ダム見学(平成30年度)
  - 蜂が峯公園(令和元年度)



おりづる出前教室(令和元年度)



交流企画(令和4年度)

### 【構成団体】

①精神障害者家族会こぶし会②大野精神障害者家族会あいあい③脳外傷友の会「広島シェイキングハンズ」廿日市市地区会④さくら作業所⑤あいあい作業所⑥友和病院⑦訪問看護ステーションゆうわ⑧訪問看護ステーションこころ一れ廿日市⑨エスペランサ⑩あうるホーム フィーカ⑪にじのえき⑫コーヒーショップあんず⑬ハナミズキ⑭相談支援事業所エスペランサ⑮さくら相談支援事業所⑯相談支援事業所あおぞら⑰串戸心療クリニック⑱訪問看護ステーション和み⑲あおぞら⑳廿日市記念病院㉑訪問看護ステーションマハロ㉒広島県西部保健所㉓市社会福祉協議会

### 【令和4年度 取組計画】

- ①精神障がいに対する理解と啓発
- ②高次脳機能障がいに関する理解と啓発(※中止)
- ③おりづる出前教室(※中止)
- ④交流企画
- ⑤制度の勉強会(※中止)
- ⑥施設見学(※中止)
- ⑦第3次廿日市市障がい者計画・第6期廿日市市障がい福祉計画・第2期廿日市市障がい児福祉計画推進

### 【令和4年度 取組報告】

令和4年度もコロナ禍の影響により、おりづる出前教室、施設見学等は中止となりました。定例会は定期的に行うことができ、地域課題についての意見交換やそれぞれの団体・事業所の近況報告を行いました。

交流企画がなかなかできていない状況でも、「事業所間の交流ができたらよい」ということで、各団体・事業所の様子を写したビデオを上映する企画を進めました。各自で撮影したものを3月9日にさくらぴあで上映しました。

年2回開催の精神保健福祉講座では、2月に発達障がいと不登校について学び、3月に依存症について学びました。

## こども部会(令和3年度～休止中)

### 【目的など】

子どもたちが明るく楽しく生きていけるよう、保護者団体で課題を共有し、行政、関係団体とも連携しながら課題解決に向けた話し合いや取組を行うことを目的としています。主な活動として、余暇活動の充実のための保護者企画や地域とのつながりづくりのための取組、情報交換、学習会等を行っており、これらの活動を通して、団体間の親睦を深めています。

### 【これまでの主な取組】

- ・「リーフレット「なってください!サポーターに」作成(知的障がい部会と共同)(平成20年度)
- ・「サポートファイル学習会」(平成21、22年度)
- ・「夏休み・留守家庭児童会アンケート」実施(放課後・長期休暇ワーキングと共同)(平成22年度)
- ・“地域とのつながりづくり”アンケート(平成23年度～)
- ・「冬の宮島親子スタンプラリー」(平成24年度)
- ・「支援者(保護者)が知っておくべき障害年金手続きの始め方・取り組み方」(権利擁護部会と共催)(平成25年度)
- ・おりづる出前教室「レクスポ」(平成23～28年度)
- ・夏休み工作(手づくり)教室(平成25年度～)
- ・学習会「障がい児者のきょうだいについて」(平成27年度)
- ・“障害福祉サービス”等のべんり帖～こどもバージョン～」作成(平成28年度)
- ・スポーツ吹矢づくり&体験(平成28、29年度)
- ・こども部会アンケート(平成29年度)



定例会の様子

### ～令和2年度までの写真～



主任児童委員さんとの顔合わせの様子



“障害福祉サービス”等のべんり帖  
～こどもバージョン～の作成



スポーツ吹矢づくり&体験の様子



夏休み工作(手づくり)教室の様子



おりづる出前教室の様子



冬の宮島親子スタンプラリーの様子  
(集合写真)

## わかりやすい情報部会 わかりやすい情報発信プロジェクト

### 【目的など】

障がいのある方に制度や地域生活を送るために役立つ情報を発信していくことを目的としています。わかりやすい情報提供の方法の検討とともに、はつかいち福祉ねっとの取組を広く知っていただくことにも取り組みます。

### 【これまでの主な取組】

- ・福祉サービスガイドブック作成(平成20年度)  
福祉サービスガイドブック改訂(平成24年度～)
- ・事業所紹介DVD作成(平成20年度)  
(協力:廿日市市民活動センター)
- ・はつかいち福祉ねっと通信発行(平成20年度～)
- ・事業所一覧の作成・更新(平成21年度～)
- ・ホームページ開設・更新(平成22年度～)
- ・オンラインお試し会(令和2年度)
- ・相談窓口チラシ作成(令和3年度)
- ・視覚障がいのある方向けの情報(ホームページ掲載)周知チラシ作成

### 【構成団体】

- ①はつかいち福祉ねっと有志
- ②さくら相談支援事業所
- ③市社会福祉協議会

### 【令和4年度 取組計画】

- ①はつかいち福祉ねっと通信発行
- ②事業所一覧・福祉サービスガイドブックなど、最新の情報を提供
- ③ホームページ等を活用した情報発信

### 【令和4年度 取組報告】

令和3年度に5年ぶりに改訂した福祉サービスガイドブックを500部印刷し、障がいのある人やその家族、各支援機関等への配布を進めました。

年4回発行している「はつかいち福祉ねっと通信」は、福祉ねっと関係者以外にも、はつかいち福祉ねっとの活動を知っていただけるよう、廿日市内の市民センター、保育園等への配布を継続しました。

また、ホームページに設けている“視覚障がいのある人向けの情報”コーナーを周知するためのチラシを市内の各眼科に持参し、来院者への配布依頼を行うことができました。

「必要としながら、まだ相談につながっていないという人等に相談につながってもらいたい」という思いで、相談窓口を掲載したチラシの配布にも取り組みました。

福祉ねっとのホームページを活用した情報発信も継続して行い、色々な人に分かりやすい情報が届くよう少しずつ取組を進めることができました。

インターネットやSNS等、情報収集方法の選択肢が増えている中、今後の取組として障がいのある人の情報収集方法に関する実態把握を進めていくこととなっています。



## わかりやすい情報部会 手話言語&コミュニケーション条例プロジェクト

### 【目的など】

「廿日市市手話言語の普及及び多様なコミュニケーション手段の利用促進によるやさしいまちづくり条例」に基づき進める施策について、具体的な意見を出し合いながら協議していくことを目的としています。

### 【これまでの主な取組】

プロジェクトは、市の条例制定に向けて、障がいのある人や家族、関係者の声を聴きながら取組を進めたいという市の意向を受けて平成29年11月に新設しました。

条例に対する色々な意見をいただきながら検討を進め、平成30年6月の廿日市市議会定例会で「廿日市市手話言語の普及及び多様なコミュニケーション手段の利用促進によるやさしいまちづくり条例」が可決され、平成30年7月1日から施行されました。

- ・「パンフレットの作成(一般版、わかりやすい版)」(平成30年度)
- ・「多様なコミュニケーションを学ぶ手話等体験研修(市の職員研修)」(平成30年度～)
- ・「人権フェスタ2018～障がいのある人もない人も一緒にコミュニケーション～」(平成30年度)



### 【構成団体】

①佐伯地区ろうあ協会廿日市支部②視覚障害者の会「椿会」③廿日市市障害者団体連絡会④日本頸椎損傷 Life Net⑤広島県難聴者・中途失聴者支援協会廿日市支部⑥廿日市市要約筆記サークルやじろべえ⑦要約筆記サークル小富士⑧友和の里保護者会(通所部)⑨くさのみ福祉会⑩脳外傷友の会「広島シェイキングハンズ」廿日市市地区会⑪にじのえき⑬廿日市市手話通訳者連絡協議会⑭市社会福祉協議会⑮市学校教育課

### 【令和4年度 取組計画】

障がい特性に応じたコミュニケーション手段の理解を深めるための普及に関する取組(学校などでの普及啓発)

### 【令和4年度 取組報告】

例年開催している新規採用された市の職員を対象とした「多様なコミュニケーションを学ぶ手話等体験研修」については、障がい別会議から5名のみなさんが参加し、コロナ禍前は講義と体験形式でしたが、この度は講義形式のみの開催となりました。

廿日市市社会福祉協議会と合同で、地域の小学校の福祉学習にプロジェクトメンバーや事務局で参加しました。

2月にプロジェクトを開催し、これまで各団体・関係機関で取り組んできた啓発への取組等について情報共有し、今後の啓発活動に向けた意見交換を行いました。

条例のパンフレットはこちらからダウンロードできます。

<https://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/soshiki/34/37898.html>



## 就労支援部会 福祉就労ワーキング

### 【目的など】

福祉サービス事業所の連携による仕事づくりや販路拡大による工賃アップ、働く場づくり、そして日中活動の充実をめざして活動しています。

### 【これまでの主な取組】

- ・ワーキングの中で各事業所の現状報告をしながらの情報共有
- ・事業所商品のPR
  - ①事業所商品のカタログを作成し、イベントなどの景品として使用してもらう。
  - ②カタログについては市のホームページに掲載中
  - ③市役所ロビーショーケースでの展示
- ・協働して取り組める仕事の開拓
  - ①商工はつかいちの封入作業
  - ②アンケートのデータ入力作業
  - ③その他の内職作業、etc
- ・販路などの拡充に向けての取組
  - ①販路開拓のために宮島で事業所商品の見本市を実施(平成23年度)
  - ②info.表参道での常設販売(平成23年度～令和元年度)
  - ③市役所ロビー・大野文化ゾーン販売開始(平成27年度～)
  - ④ニューヤマザキデイリーストアー廿日市市役所売店常設販売(平成30年度～)
  - ⑤はつこいマーケット(宮島口ターミナル)常設販売(令和2年度～)

### 【構成団体】

①くさのみ作業所②ピクトハウス③夢工房④にじのえき⑤さくら作業所⑥コーヒーショップあんず⑦ハナミズキ⑧あいあい作業所⑨アダージョ⑩障害者支援施設原⑪広島ひかり園⑫ふれあい生活介護⑬友和の里⑭多機能事業所ぱすてる⑮Hanaと花舎⑯リバティーはつかいち⑰あおぞら⑱あうるワークスペース⑲清風会みやじま⑳なずな㉑そらまめ㉒おおの共同作業所㉓ pas à pas(パザパ)㉔レント㉕omnibus roasters tokyo㉖ねこばんち

### 【令和4年度 取組計画】

- ①各事業所の取組情報の共有
- ②“障害者週間”に向けての取組
- ③商品カタログの更新(継続)
- ④協働でできるプロジェクトの実施及び進捗状況の確認

### 【令和4年度 取組報告】

2か月に1度の定例会を開催し、取組の共有や近況報告を行いました。  
 「ニューヤマザキデイリーストアー廿日市市役所売店」、「宮島口の旅客ターミナル「はつこいマーケット」」、「ADOA 大野」での常設販売は売上も好調で継続して販売しています。  
 広島県主催のオンライン販売への参加や、企業や市からも新たな請負作業の依頼があり、定例会で作業の説明に来ていただき、見学にも行きました。

「商工はつかいちの封入作業」「市役所からのアンケートのデータ入力」「市役所ロビーショーケース展示」などこれまで行ってきた事業も継続して行っています。

障害者週間の販売を11月27日(金)に、初めて市役所前の広場で行いました。天気も良く屋外での販売という新しい試みとなりました。

またゆめタウンはつかいち様よりお声がけをいただき、3月30日から4月2日のイベントに向けて準備を行っていきました。



はつこいマーケット  
委託販売



ニューヤマザキデイリー  
ストアー委託販売



ADOA(アドア)大野



## 就労支援部会 特別支援学校進路ワーキング

### 【目的など】

「特別支援学校卒業生の就労の場が不足している」という課題の解決に向けて協議検討するとともに、各事業所・特別支援学校(廿日市市在住の生徒が在籍する市外特別支援学校も含む)の情報共有や廿日市特別支援学校卒業予定者の進路調整を行うことを目的にしています。

### 【これまでの主な取組】

- ・ 学校の卒業生見込み数と事業所の受け入れ見込み把握  
(平成 21 年度～)
- ・ 廿日市市外の特別支援学校も参加(夏休み期間中 1 回)スタート  
(平成 23 年度～)
- ・ 特別支援学校卒業者等にかかる就労継続支援B型の利用取扱い等について調整(平成 25 年度)



ワーキングの様子



### 【構成団体】

- ①広島県立廿日市特別支援学校②ハローワーク廿日市③広島西障がい者就業・生活支援センターもみじ

(夏休み期間中：くさのみ作業所、ピクトハウス、夢工房、にじのえき、さくら作業所、コーヒーショップあんず、ハナミズキ、アダージョ、レント、生活介護事業所原、就労継続支援事業所原、障害者支援施設広島ひかり園やすらぎ・まごころ、あいあい作業所、大野ふれあい生活介護事業所、障害福祉サービス事業所 pas à pas、友和の里通所部、ハートフルあまの、ぱすてる、ぱすてる大野原、ぱすてる大野原クリーニング、Hana と花舎、リバティーフかいち、あおぞら、あうるワークスペース、清風会みやじま、なすな、そらまめ、おおの共同作業所、Omnibus Roasters Tokyo、相談支援事業所原、指定一般相談支援事業所広島ひかり園、指定特定相談支援事業所広島ひかり園、障害児相談支援事業所 PIECE 宮園、指定特定相談支援事業所友和の里、さくら相談支援事業所、相談支援事業所くさのみ、相談支援事業所あおぞら、相談支援事業所そら、相談支援事業所いっぼ、あうるサポートセンター、相談支援事業所エスペランサ、ライフプランナーKIZUNA、市外特別支援学校)

### 【令和4年度 取組計画】

特別支援学校と進路先関係者等による情報共有(年 4 回)

※夏休み期間中ワーキング(2 部構成)

前半：廿日市特別支援学校、市外特別支援学校にご参加いただき、市内福祉事業所の情報共有

後半：廿日市特別支援学校卒業予定者について廿日市特別支援学校と事業所でケース共有

### 【令和4年度 取組報告】

年 4 回のワーキングを開催し、情報共有を行いました。

ワーキングの通常のメンバーに加え、市内の日中活動系事業所や相談支援事業所にも参加していただく夏休みのワーキングは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインと現地参加でのハイブリッド方式で開催しました。

市内に日中活動系事業所が増えており、一般就労も含めた選択肢が増えてきていますが、より生徒一人ひとりに合った進路選択となるよう、情報共有や協議を行いながら卒業後の進路調整を行いました。

## 発達支援部会

### 【目的など】

ライフステージを通して、切れ目ない発達支援ができるような体制整備に向けた検討を行うことを目的としています。

### 【これまでの主な取組】

- ・社会資源(保育・教育・福祉)、相談支援の現状整理(平成20年度)
- ・サポートファイルの普及啓発
  - 関係者会議、モニター実施(平成21年度)
  - 「サポートファイル学習会」(こども部会・知的障がい部会と共同)(平成22年度)
  - 「サポートファイル支援者向け学習会」(平成25年度)
  - 「サポートファイル活用に関する調整会議」(児童発達支援事業所)(平成26年度)
- ・「発達障害児市町支援体制推進事業サポート会議」(平成23年度)
- ・「広島県発達障害市町サポートコーチ事業」利用(平成24年度)
- ・発達障がいのある人のための窓口紹介リーフレット「ポジティブライフガイド」作成(平成24年度)→配布(平成25年度～)
- ・学習会「発達障がいの基礎知識」(平成24年度)
- ・障がい児支援関係事業所連絡会の開催(平成28年度～)



部会の様子



障がい児支援関係事業所連絡会

### 【構成団体】

- ①広島西こども発達支援センターくれよん②市教育委員会③市子育て応援室④市こども課⑤市社会福祉協議会⑥市障害福祉課⑦きらりあ
- ※障がい児支援関係事業所連絡会：市内障がい児支援関係事業所(児童発達支援センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、障がい児相談支援事業所、児童養護施設、母子生活支援施設等)

### 【令和4年度 取組計画】

- ①ポジティブライフガイドの配布
- ②サポートファイル(「心つなぐサポートファイルひろしま結愛」)の普及・啓発
- ③障がい児支援関係事業所連絡会の開催
- ④教育と福祉の連携についての検討
- ⑤保護者向け学習会の開催

### 【令和4年度 取組報告】

発達障がいのある人の相談窓口リーフレット「ポジティブライフガイド」は、乳幼児健診に来られる保護者や保育園・幼稚園・小中学校の保護者等への配布を継続しました。

年3回定期開催している障がい児支援関係事業所連絡会(対象：児童発達支援センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、障害児相談支援事業所等)では、行政報告やグループワーク、研修(※)を行いました。グループワークでは「サポートファイル活用について」「各事業所の取組について」「今後の研修内容について」という3つのテーマで情報共有や意見交換を行い、事業所同士のつながりづくりの機会にもなりました。

こども部会が休止となったことを受けて、発達支援部会で開催することとなった保護者向けの「将来を見据えた進路選択などに関する学習会」(講師：広島学びのサポートセンター 橘恵さん)は、会場・オンライン参加・後日視聴で約60名の保護者に参加していただき、有意義な時間となりました。

保護者への情報提供や各関係機関の連携を進めるためのツールとして、令和3年度から作成に取り組んできた「ポジティブライフガイド～発達障がい支援ハンドブック(こども編)～」は、ようやく完成に近い形となりました。

#### ※研修内容

「将来を見据えた支援及び障がい者(児)虐待について」

講師：日本相談支援専門員協会 副代表理事

コンサルテーションサポート 森の入口 代表 金丸 博一さん

「子どもの特性に沿った支援を～子どもの将来像は?～」

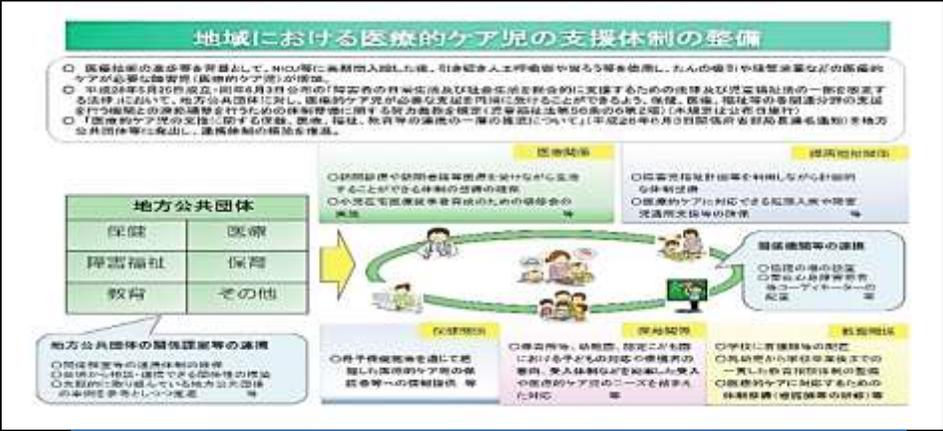
講師：廿日市市教育委員会 特別支援教育士スーパーバイザー 山田 充さん

# 医療的ケア児(者)部会

**【目的など】**  
 医療的ケア児(者)の地域の現状や課題を把握・検討するとともに、関係者会議等の開催を通して地域で支援に携わる保健、医療、福祉、教育等の連携を図ることを目的としています。

**【これまでの主な取組】**

- ・関係者会議における情報共有・学習コーナーの開催
- ・地域における医療的ケア児(者)の現状や課題の把握・検討



厚生労働省資料「医療的ケアが必要な子どもへの支援の充実に向けて」より抜粋  
(平成30年10月3日)

**【構成団体】**

①市障害福祉課②相談支援事業所あおぞら③指定特定相談支援事業所友和の里④きらりあ(②③からは医療的ケア児等コーディネーターが参加)

※関係者会議：うるおい訪問看護ステーション、ハートフルステーションあまの、佐伯地区医師会訪問看護ステーション、JA広島総合病院、大野浦病院、広島西医療センター、重症児・者福祉医療施設原、児童発達支援センターおひさま、広島西こども発達支援センターくれよん、放課後等デイサービスマイリー、ひなたぼっこ廿日市、相談支援事業所あおぞら、指定特定相談支援事業所友和の里、廿日市市特別支援学校、市子育て応援室、市こども課、市学校教育課、市障害福祉課

**【令和4年度 取組計画】**  
 医療的ケア児(者)部会関係者会議の開催

**【令和4年度 取組報告】**

12月9日(木)に関係者会議を開催し、医療的ケア児(者)に係る情報共有や、各関係機関の現状について意見交換等を行いました。また、広島県が実施した「医療的ケア児及びその家族の生活状況や支援ニーズに関する調査結果」をメンバーで共有しました。学習コーナーでは「障害福祉サービス・制度の概要」について、市障害福祉課から説明を受け、関係機関同士の情報共有を行いました。

今後の取組として、研修の開催や、医療的ケア児・者の方が活用できる資料の作成等について検討していくこととなっています。



関係者会議の様子



## 地域生活支援部会 余暇活動支援ワーキング

### 【目的など】

障がいのある人たちの余暇活動の充実を目的としています。  
当初は、障がいのある子どもたちの放課後長期休暇中の課題(居場所づくり等)解決のために立ち上げたワーキングでしたが、子どもたちの社会資源が増えてきたため、現ワーキングへと移行しました。

### 【これまでの主な取組】

- ・関係事業所情報交換会(平成25年度)
- ・放課後長期休暇スキルアップ研修(平成25年度)
- ・障がい者スポーツ体験会(平成26年度～)
- ・カローリング交流会(平成26年度～令和元年度中止)
- ・クルージング(協力:JR西日本宮島フェリー)企画(平成27年度～)  
※平成25～26年度は事務局主催、令和2年度は中止
- ・「みんなの交通安全教室&広島県警察音楽隊演奏」(平成28年度～平成30年度)

### 放課後長期休暇ワーキング(平成20～24年度)

- ・社会資源整理
- ・放課後長期休暇ニーズ調査(平成20、21年度)
- ・長期休暇オープンスペース(平成22～24年度)
- ・おりづる講習会(支援者対象)(平成23年度)
- ・関係事業所情報交換会(平成20～24年度)



ワーキングの様子

### 【構成団体】

- ①あうるワークスペース②はつかいち福祉ねっと有志③市社会福祉協議会

### 【令和4年度 取組計画】

- ①スポーツ交流会(オンライン活用)  
②ななうら丸 de クルージング(※中止)

### 【令和4年度 取組報告】

コロナ禍でもできそうな企画内容を検討し、3年ぶりの企画となる「ニュースポーツ体験会&カローリングミニ大会」を3月11日(土)に開催しました(会場:山崎本社みんなのあいプラザ)。コロナ禍前に開催していた「カローリング交流会」のように一度に多くの方に集まっていただくことはできませんでしたが、オンラインも活用して場所と時間を分散させ(1時間30分の企画内容を同日に3回実施)、色々なニュースポーツ(ビーンボウリング、フライングディスク、スカイクロス、フォームロケット、カラー玉入れ)の体験やカローリングの対戦を行いました。スポーツ推進委員さんたちにも盛り上げていただき、参加者のみなさんの楽しそうな笑顔が見られ、開催できた喜びをワーキングメンバーで共有しました。

年度当初、計画に入れていた「ななうら丸 de クルージング」については、いつもご協力いただいているJR西日本宮島フェリーさんと調整の結果、残念ながら開催を見送ることとなりましたが、久しぶりに楽しい企画を1つ行うことができ、明るい気持ちで1年を締めくくることができました。



「ニュースポーツ体験会&カローリングミニ大会」の様子

## 地域生活支援部会 訪問介護事業所連絡会

### 【目的など】

「事業所同士の横のつながりが持てる機会があれば」の声で立ち上がった連絡会です。学習、情報交換、情報共有を通し個々のスキルと地域力UPをめざしています。連絡会でのつながりが現場の支援に役立っています。

### 【これまでの主な取組】

- ・ 講演会「気分障害について」(平成22年度)
- ・ 広島県障害者地域移行促進強化事業  
「ヘルパーさんのための精神保健福祉講座」(平成23年度)
- ・ 研修会  
「障がいのある人への対応～思春期をむかえるにあたって～」  
(平成26年度)
- ・ 研修会  
「発達障害の心のケアーヘルパーや支援者がしていること、してはいけないこと」(平成27年度)
- ・ 講演会「障害児を持つ保護者の気持ちを理解するために」  
(平成28年度)
- ・ なちゅは介護セミナー(平成24、25年度)
- ・ リハビリテーションケアセミナー(平成27年度)
- ・ 介護技術向上研修(平成28、29、30年度)
- ・ 救命講習(平成24、25、27、28、29、30年度)
- ・ 利用者・ヘルパー交流企画(平成24年度～平成27年度)
- ・ 長期休暇オープンスペース(平成25年度～平成27年度)
- ・ 腰痛予防研修(令和元年度)
- ・ 第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み(平成26年度)
- ・ 「虐待防止委員会の設置に向けて」「障害者虐待について学ぼう～概論・施設の対応・虐待対応の流れ」(令和3年度) ※権利擁護ワーキングと共催

### 【構成団体】

①ヘルパーステーションふれあい②訪問介護事業所第2清鈴園③あうる介護サービスセンター④ニチイケアセンター廿日市⑤ニチイケアセンター広島宮内⑥サンキ・ウエルビィ介護センター廿日市⑦ヘルパーステーションケーアイ⑧土谷ヘルパーステーション阿品⑨オムエルヘルパーステーション⑩もみじケア訪問介護事業所⑪(株)アッシュ⑫生協ひろしま介護サービス・廿日市⑬廿日市市社会福祉協議会訪問介護センター⑭エコール在宅介護ステーション廿日市⑮訪問介護事業所なな⑯ヘルパーステーション光風⑰訪問介護事業希生⑱訪問介護事業所リーズン

### 【令和4年度 取組計画】

ヘルパーのスキルアップのための研修

- ・ 救命講習(※中止)
- ・ 制度学習会

### 【令和4年度 取組報告】

新型コロナの感染拡大により、例年行っている救命講習や介護技術関連の研修は中止となりましたが、10月には制度学習会(複数の制度が関連する場合のサービス提供について)を開催しました。

定例会はオンラインも活用しながら、コロナ禍における支援の現状を共有するとともに、12月には西部保健所からの感染予防対策に関する研修を受講しました。

また、昨年度に引き続き、権利擁護ワーキングとの共催で、2月に虐待防止研修を開催しました。



定例会の様子

## 地域生活支援部会 防災プロジェクト

### 【目的など】

障がいのある人や家族、関係機関と連携しながら防災や減災について学習会などを行っています。

また、防災などを通じて地域との連携などについても取り組んでいけるよう検討します。

### 【これまでの主な取組】

- ・ 防災に関するアンケートを当事者団体や事業所の協力を得ながら実施し集約する。
- ・ 研修「災害に備え、今から、やっておくこと」  
～防災を切り口に新しい福祉の形を創り出そう～(平成23年度)
- ・ 障がい別会議合同消防訓練(あいプラザ)(平成27年度～)
- ・ レッドゾーンにお住いの障がいのある方への個別訪問(令和元年度～)
- ・ 「災害時における障がいのある人の避難支援に関する会議」の開催(令和元年度～)
- ・ 地域生活支援システム緊急時連絡票の様式に、災害時に関する項目を追加(令和元年度～)

### 【構成団体】

- ①市危機管理課②市健康福祉総務課③市地域振興課④市障害福祉課⑤市社会福祉協議会⑥きらりあ

### 【令和4年度 取組計画】

- ①障がい別会議合同避難訓練(あいプラザ)
- ②障がいのある人の避難支援の仕組みに関する検討
- ③学習会の開催(障がい別会議との共催企画)

### 【令和4年度 取組報告】

防災プロジェクトでは、それぞれの所属での取組について、情報共有や意見交換をしながら「障がいのある人の避難支援の仕組みに関する検討」を行っています。

学習会の開催には至りませんでした。プロジェクトメンバーが知的障がい部会に参加し、避難行動要支援者避難支援制度の現状について説明したり、防災に関する意見交換を行いました。

今年度の最優先課題として「土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)在住の障がいのある方で、自力避難が難しい方」の個別避難計画作成に取り組むこととし、相談支援部会でも協力を呼びかけました。下半期からは、プロジェクトのメンバーが担当の相談支援専門員など福祉専門職と一緒に、対象世帯のお宅を一軒ずつ訪問して現地確認、現状についてのお話を伺いながら、協議を重ね、個別避難計画の作成を進めているところです。

また、3月に日中活動系事業所を対象に「災害時における障がいのある人の避難支援に関する会議」を開催し、プロジェクト参加メンバーによる防災情報の共有と事業所での取組の現状や課題について、意見交換を行いました。

コロナ禍以降、中止していたあいプラザでの消防訓練については、3年ぶりに障がい別会議のみなさんが参加することができました。



会議の様子

## 地域生活支援部会 地域生活支援システムプロジェクト

### 【目的など】

国が示した「地域生活支援拠点」(障害者の重度化・高齢化や「親なき後」を見据えた、居住支援のための機能をもつ場所や体制)を整備するため、本市に必要な地域生活支援システムのあり方等を検討し、「障がいのある人が、地域で安心して暮らし続けることができる仕組み」をつくることを目的としています。

### 【これまでの主な取組】

- ・プロジェクト、ワーキングによる「廿日市市地域生活支援システム」に関する協議検討(平成28年度～)
- ・「夜間・休日等における緊急時の受け入れ・対応アンケート」(平成28年度)
- ・地域生活支援システムの構築・整備に係る事例研修会～広島県・はつかいち福祉ねっと共催～(平成28年度)
- ・「廿日市市地域生活支援システム緊急時受入等事業」スタート(平成30年度～)  
※実施主体は市
- ・「廿日市市地域生活支援システム緊急時受入等事業登録予定(対象)人数アンケート」(平成3年度)



緊急時受入等事業の概念図



緊急時連絡票(兼)登録申請書

### 【構成団体】

- ①廿日市市障害者団体連絡会②視覚障害者の会「椿会」③佐伯地区ろうあ協会廿日市支部④日本頸髄損傷 Life Net⑤友和の里保護者会(通所部)⑥脳外傷友の会「広島シェイキングハンズ」廿日市市地区会⑦広島ひかり園⑧くさのみ作業所⑨さくら作業所⑩友和病院⑪エスペランサ⑫相談支援事業所いっぽ⑬相談支援事業所エスペランサ⑭相談支援事業所あおぞら⑮あうる介護サービスセンター⑯もみじケア訪問介護事業所(参加事業者調整会議:21法人)

### 【令和4年度 取組計画】

- ①地域生活支援システム運用による課題整理、改善実施
- ②障がいの重度化・高齢化や「親なき後」を見据えた体制整備についての検討
- ③参加事業者調整会議・合同会議(プロジェクト&参加事業者調整会議)の開催
- ④他市町からの情報収集

### 【令和4年度 取組報告】

プロジェクト立ち上げ当初から、優先度の高い緊急時の対応の体制づくりとして検討を行ってきた「廿日市市地域生活支援システム緊急時受入等事業」の一定の整理ができたことから、地域生活支援システムプロジェクト・参加事業者調整会議合同会議において今後の取組について検討しました。

国が示す「地域生活支援拠点」の目的や主な5つの機能(相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくり)のうち、廿日市市で課題となっていること、不足していること等を考えながら、グループワークを行いました。その結果、新たに3つのワーキング「緊急登録すすめますワーキング」「福祉の魅力伝えますワーキング」「みんなのねがいききますワーキング」を立ち上げ、2年以内を目途とした具体的な目標を立て、取組を進めていくこととなりました。

他市町の情報についての共有や、地域生活支援拠点の整備を含めた先駆的な取組を行っている金沢市の取組についての学習(はつかいち福祉ねっと全体会)も行うこともできました。



プロジェクトの様子

## 相談支援部会

### 【目的など】

障がい福祉サービス等の利用者全員に作成することとなった「サービス等利用計画(障がい児支援利用計画)」の提供体制整備及び相談支援専門員の資質向上を目的としています。

### 【これまでの主な取組】

- ・ サービス等利用計画作成に関する講演会、演習等(平成24年度～)
- ・ 事業所間情報交換(平成24年度～)
- ・ 調査活動(タイムスタディ)(平成25年度)
- ・ オリジナル資料作成(虎の巻、計画相談に関する疑問と整理(Q&A)、相談支援専門員一覧)(平成24年度～)
- ・ 事業所紹介(平成24年度～)
- ・ Dropbox活用による情報共有(平成24年度～)
- ・ 事業所見学ツアー、事業所情報シート作成(平成26年度～)
- ・ 第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み(平成26年度～)
- ・ サービス等利用計画作成に関する課題整理と解決方法検討のための実態調査実施(平成27年度)
- ・ サービス管理責任者と相談支援専門員合同研修会(平成27、28年度)
- ・ 事例報告(平成29年度～)

### 【構成団体】

①相談支援事業所原②さくら相談支援事業所③指定特定相談支援事業所広島ひかり園④相談支援事業所そら⑤障害児相談支援事業所PIECE宮園⑥相談支援事業所くさのみ⑦あうるサポートセンター⑧相談支援事業所いっぽ⑨相談支援事業所あおぞら⑩特定相談支援事業所友和の里⑪相談支援事業所エスペランサ⑫ライフプランナーKIZUNA⑬障がい児(者)相談支援事業所みんなの手⑭一般社団法人青少年自立支援フォーラム子ども発達支援室⑮アマノリハビリテーション病院⑯生協ひろしま居宅介護事業所・廿日市⑰多機能事業所ぱすてる⑱スプリングコート⑲ウィルサポキッズ廿日市SSTs・ウィルサポキャンパス廿日市⑳Raiz廿日市㉑エスペランサ㉒児童デイサービスねっ子㉓広島学びのサポートセンター

### 【令和4年度 取組計画】

- ①相談支援専門員の質の向上、サービス等利用計画の質の向上のための取組
  - ・ 各種情報共有
  - ・ 「学習コーナー(定例部会内)」での学習(制度、計画作成など)
  - ・ 「事例報告(定例部会内)」
- ②新たな相談支援事業所参入に向けた取組  
部会へのオブザーバー参加受け入れ、Dropboxによる情報共有で新規参入事業所等へのフォロー

### 【令和4年度 取組報告】

部会の開催頻度を隔月とし、会議形態はオンラインと現地参加のハイブリット形式で行いました。

学習として、9月に医療的ケア児者の地域の現状について、1月には感染予防の話を行いました。

二つの新たな取組として、一つ目は、避難行動要支援者の個別避難計画作成に着手しました。健康福祉総務課の地域福祉グループ職員から説明を受け、第一段階として土砂災害レッドゾーンの方の個別避難計画作成に取り組み始めました。二つ目は、11月に実施した主任相談支援専門員企画の事例検討会です。事前に主任相談支援専門員で情報共有を行い、内容を検討し結果、11月の部会で事例検討会を開催しました。参加者全員が発言する事例検討会とし、他の相談支援専門員等の意見を聴ける貴重な会となりました。



部会の様子

## 学習・啓発部会 権利擁護ワーキング

### 【目的など】

権利擁護に関する研修会開催を中心に、はつかいち福祉ねっと全体の権利擁護意識を高めることを目的に取り組んでいます。

### 【これまでの主な取組】

#### ・研修

「みんなで学ぼう！！権利擁護の基礎について」(平成23年度)

「部会内研修事例におけるスーパービジョン」(平成24年度)

「自己評価について」「みんなで学ぼう！！成年後見制度のイロハ」(平成25年度)

「障害者虐待防止—起こさないために&起こってしまったら—私たちにできること」「成年後見制度のここが知りたい～身近なものとするために～」(平成24年度)

「成年後見制度講演会」「障がいのある人の権利擁護と虐待防止について」「支援者(保護者)が知っておくべき障害年金手続きの始め方・取り組み方」(平成25年度)

「権利擁護研修会～障がいのある当事者の視点から」「安心して暮らしていくために知っておきたいこと」(平成26年度)

「障害者差別解消法が目指すもの」(平成27年度)

「障害者差別解消法ってなに？～法律の概要と活用のポイント～」  
「障害者の権利擁護について～障害者の虐待防止～」(平成28年度)

「私らしく自己決定」「障害者差別解消法と地域協議会について」(平成29年度)

「不当な差別的取り扱いの禁止と合理的配慮の提供～権利条約の示したもの～」(平成30年度)

「意思決定支援のきほんの“き、”」(令和元年度)「意思決定支援のきほんの“ほ、”」(令和2年度)、「意思決定支援きほんの“ん、”」(令和3年度)

虐待防止委員会の設置に向けて「障害者虐待について学ぼう～概論・施設の対応・虐待対応の流れ」(令和3年度)※訪問介護事業所連絡会と共催

#### ・合理的配慮好事例の収集(平成30年度～令和3年度)

### 【構成団体】

①廿日市市障害者団体連絡会②広島県難聴者・中途失聴者支援協会廿日市支部③障害者施設・原家族会④虹の会⑤おのおの手をつなぐ育成会⑥相談支援事業所あおぞら⑦スイミー⑧さくら作業所⑨エスペランサ⑩サンキ・ウエルビィ介護センター廿日市⑪くさのみ作業所⑫広島西医療センター⑬市社会福祉協議会

### 【令和4年度 取組計画】

- ・研修会開催(はつかいち福祉ねっとのみなさん対象)
- ・合理的配慮好事例の収集(廿日市市障がい者差別解消支援地域協議会への報告)

### 【令和4年度 取組報告】

学習としては、2月21日に訪問介護事業所連絡会と共催で虐待防止研修(講師:土屋徹さん)をオンライン開催し、福祉ねっとのみなさんに広くご参加いただきました。

また、前年度に引き続き、障がい理解の啓発を目的とし、各障がい別会議等で合理的配慮好事例の収集にも取り組みました。また、これまで収集した事例を参考とし作成したパンフレット(タイトル「障害者差別解消法 合理的配慮等のポイント」)の配布は、引き続き地域の関係機関等に配布をすすめていく予定です。



研修会の様子

## 学習・啓発部会 “障害者週間”ワーキング

### 【目的など】

障がい者福祉についての関心と理解を深めるために“障害者週間”に啓発活動を行います。

### 【これまでの主な取組】

- ・ 11月  
はつかいち・みやじま情報センターイベント  
(令和3年度～令和4年度)  
当事者団体や障害福祉サービス事業所のパネル展示  
上映：障害者権利条例(絵本)、事業所紹介  
廿日市市役所ロビー、市役所前広場啓発販売  
(令和3年度～令和4年度)  
市内の障がい福祉サービス事業所製品販売
- ・ 12月  
ゆめタウン廿日市イベント(平成27年度～令和4年度)  
体験コーナー：手話教室、ロービジョン体験等  
パネル展示による障害福祉サービス事業所の紹介  
障がいのある方の作品展示  
上映：障害者権利条約(絵本)、パラアスリートやあいサポート運動の紹介、手話言語及びコミュニケーション条例の紹介、事業所紹介



ゆめタウン廿日市にて  
手話の体験教室、啓発展示



はつかいち・みやじま情報センター  
(宮島口旅客ターミナル)にて啓発展示

### 【構成団体】

①視覚障害者の会「椿会」②佐伯地区ろうあ協会廿日市支部③廿日市市障害者団体連絡会④日本ダウン症協会(はつかいち)⑤廿日市市障害者福祉協会⑥広島ひかり園⑦なずな⑧コーヒーショップあんず⑨あおぞら⑩あうるワークスペース⑪くさのみ作業所⑫そらまめ⑬おおの共同作業所

### 【令和4年度 取組計画】

- ① “障害者週間”での取組、啓発活動  
(障がい別会議+福祉就労ワーキング)

### 【令和4年度 取組報告】

令和4年度は、ワーキングを2回行い、“障害者週間”イベントをどのようにしていくか話し合いました。啓発は昨年度と同じくはつかいち・みやじま情報センターとゆめタウン廿日市で行い、販売は福祉就労ワーキングの意見も参考にしながら、廿日市市役所前広場と市役所1階ロビーで行うこととしました。

はつかいち・みやじま情報センターは、11月9日～11月20日の日程で事業所・団体紹介、事業所製品等の展示、映像による啓発、啓発ポスター展示をしました。10日間で約3,800の方が来場してくださいました。

廿日市市役所前広場・1Fロビーは、11月25日(金曜日)に事業所製品販売による啓発を行いました。前は市役所1Fロビーのみでしたが、「市役所の前を通る人にも知ってもらいたい」という思いから、市役所前広場で販売を行いました。

ゆめタウン廿日市は、12月3日(土曜日)に2階フロアスペース(ユニクロ前)にて手話やロービジョンの体験コーナー、事業所・団体紹介、事業所製品等の展示をしました。ゆめタウン廿日市がオープンしてから行っている企画ですが、お店の協力も継続していただき、今回で8回目となりました。体験コーナーもコロナ禍前のような形で復活することができ、たくさんの方に体験をしてもらうことができました。

# 学習・啓発部会 “発達障害啓発週間”ワーキング

## 【目的など】

発達障がいについての関心と理解を深めるために世界自閉症啓発デー、発達障害啓発週間に啓発活動を行います。

## 【これまでの主な取組】

- ・新宮中央公園でのブルーライトアップ(平成30年度～)
- ・はつかいちカラフル・アート展～“発達障害啓発週間”作品展～(令和元年度～)※令和2年度は中止



ブルーライトアップ(桜の木)



手づくり横断幕・啓発ポスター掲示



山崎本社みんなのあいプラザ



市民ホール(はつかいち図書館前)



はつかいち美術ギャラリー



はつかいち・みやじま情報センター

「はつかいちカラフル・アート展～“発達障害啓発週間”作品展～」の様子

## 【構成団体】

- ①廿日市市障害者団体連絡会②廿日市市障害者福祉協会③廿日市特別支援学校PTA④広島ひかり園⑤ふれあい生活介護⑥あおぞら⑦あうるワークスペース⑧こどもひろぼういず物見⑨放課後等デイサービスつなぐ⑩art201

## 【令和4年度 取組計画】

- ① “発達障害啓発週間”(世界自閉症啓発デー)での啓発活動
  - ライト it up ブルー広島 in 廿日市市
  - 第3回 はつかいちカラフル・アート展～“発達障害啓発週間”作品展～

## 【令和4年度 取組報告】

発達障害啓発イベント(「ライト it up ブルー広島 in 廿日市市」(ブルーライトアップ(※))「第3回 はつかいちカラフル・アート展～“発達障害啓発週間”作品展～」)を開催しました。



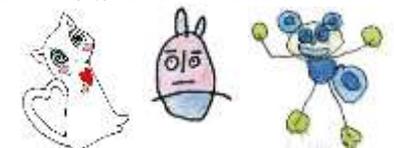
Tシャツ(ワーキングで作成)

「第3回 はつかいちカラフル・アート展～“発達障害啓発週間”作品展～」は、はつかいち美術ギャラリー・市民ホール・はつかいち・みやじま情報センター・山崎本社みんなのあいプラザを会場に開催しました。作者のプロフィールや作品に込めた思いなどを作品のそばに掲示するといいいのではないかと、ワーキングメンバーから意見があり企画しました。アンケートでは、「すばらしい作品ばかりでした。ずっと眺めていたい、あったかい気持ちになりました」という感想がありました。

イベントの振り返りでは、「来場者や観光客に障がいのことを伝える良い機会なので、毎年開催することで啓発につながると思う」と意見があり、これからも続けていくことを、ワーキングメンバーで確認しました。

令和5年度“発達障害啓発”イベントの開催に向けた準備も行いました。

※自閉症・発達障がい啓発のシンボルカラーである“ブルー(青)”は、「癒し」や「希望」を意味し、全国各地でブルーライトアップが行われています。



シンボルキャラクター